

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 2月 28日

【児童発達支援】

事業所名: 多機能型事業所ホープみさかえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動の内容や人数により、他の部屋を利用したりして充分なスペースを取るようにしている。	・利用状況や活動状況に応じて臨機応変な対応を取ることとする。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・配置数は基準上適切であるが、活動内容等によっては他部署からの応援を貰うことがある。	・適正基準は遵守しつつ、利用状況や活動状況に応じて臨機応変な対応を取ることとする。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・整理整頓を心掛け、本人にわかりやすく、安全に活動ができるように気を配っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・部屋使用前後の清掃、換気、消毒をしっかりと行っている。また活動に合わせた配置換えなど工夫している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	・毎日の振り返りで、個々の対応改善に繋げるとともに、目標確認も行うようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者の評価は良好であるが、もっと保護者との会話を増やし、要望等を聞いていくようにしている。	・保護者のアンケート上の評価は良好であるが、アンケートに表れないことも考えられるので、送迎時等普段の会話の中に潜む、要望等を汲み取れるようにしていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価を行い、事業所ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価はしていない。	・今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・月1回、内部研修を実施している。 ・外部研修も受講し、受講者が他への伝達研修を実施している。	・外部研修は現在リモート研修が多いが、できるだけ受講するようにしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・契約の際に保護者から利用法や本人の状況を聞き、そのことを反映して、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	・保護者情報や本人観察により状況把握をしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・必要に応じて取捨選択して、項目別にわかりやすい表記で個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・スタッフで共通理解し、計画に沿って支援しているが、本人の状況によっては臨機応変な対応をしたり、計画の見直しもある。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・スタッフ間で提案し、話し合ってプログラム作成をしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・マンネリ化しないように、それぞれがアイデアを出すようにしている。	・インターネット情報やいろいろな情報収集にも努め、いろいろな要素を取り入れプログラムが固定化しないようにする。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・保護者等の情報収集に努め、本人の状況に合わせた作成を心掛けている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日、支援開始前の打ち合わせを実施しているが、時差出勤により不在の職員には、伝達ノートにより共有化を図っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・その日のうちに時間が取れない場合は、次の日の打ち合わせと合わせて、振り返りを実施して、情報共有を図っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々しっかりと記録を取るようにしている。	・記録の検証をして、改善に繋げていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・スタッフで話し合い、見直しを図っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援責任者が参画している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・定期的に行われる自立支援協議会での情報共有や必要に応じ連携を取っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・連携を図り、支援を行うようしている。・保育所、幼稚園、養護学校などとの情報共有を図りながら支援に役立てている。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・対象児のかかりつけ医は確認しており、必要であれば連絡は取れる体制にしている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・利用が始まる時点で担当者会議を行い、情報を共有している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行シートを作成して、情報提供をしている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・関係機関との連携を取るようにしているが、コロナ禍でままならない状況にある。	・コロナの状況が好転すれば、連携を密にとって行くことになる。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・コロナ禍で他の施設との交流を図れる現状はない。	・コロナの状況が好転すれば、他施設との交流も図りたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		参加している。	
	30 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時に直接伝えたり、連絡帳で伝え、共通理解を図るようにしている。	・保護者と、その担当者のみにならず、スタッフ全員含めての共通理解になるよう取り組む。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・実施に向け準備中である。	・来年度は実施するよう計画を立てている。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に丁寧に行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画を作成した後、保護者と確認し、同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・連絡ノートやモニタリング、送迎時等に相談を受けやすい雰囲気作りを心掛けている。	相談事等、丁寧に誠意をもって対応することとする。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・コロナ禍であり、機会は少ないが、親子療育を通じ交流できる場はある。	・コロナ禍で行事等も開催できず、なかなか交流の機会を作れないが、状況が良くなれば行事等も開催し、交流の機会を作っていきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談の都度、丁寧に対応するように心がけている。	・相談の都度、丁寧に対応すとともに、場合によってはスタッフ会議を開き、より以上の対応をすようにしている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・部署たよりを毎月、事業所全体のたよりを年4回発行して、日々の活動内容や今後の予定をお知らせするようにしている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・十分に注意して扱っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・カード等の視覚支援やジェスチャーなどを用いるなどの配慮をしている。支援内容などをノートに記入している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・コロナの影響で行事等が実施できていない。	・コロナ禍で行事等も開催できずに、交流を図れる機会がない。コロナが落ち着けば交流が図れるように配慮していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>			・マニュアルや周知が充分でないため、改めて整理したい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		・月1回避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		・契約時及び毎年更新する調査票で確認している。 ・変更がある場合はその都度、お知らせいただくようお願いしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>		・契約時に保護者に確認をしている。	・保護者に確認をして、医師の指示書が必要であれば、もらったうえで十分な対応をする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		・報告書を作成して、周知をしたうえで、ファイリングし、いつでも確認できるようにしている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		・年2回は施設内研修を実施している。また事例等があれば報告をし、その都度注意喚起を促している。	・外部研修にもできるだけ参加するようにしている。また、他の職員への伝達研修も行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		・身体拘束の必要性が感じられる場合は、十分に検討したうえで、事前に保護者に確認を取り、利用児のその時の状況によって拘束するかを判断する。そのため計画には記載していない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)

